

平成30年度 大竹市地域公共交通活性化協議会 事業計画（案）

1 概 要

平成30年度においては、「第2期大竹市地域公共交通総合連携計画」の事業方針及び本事業計画に基づき、次の事業を実施する。

2 平成30年度の計画事業

(1) 活性化協議会の開催

地域の実情に即した輸送サービスについて審議し決定するため、本協議会を適切かつ適正に開催し運営する。

また、現在の第2期大竹市地域公共交通総合連携計画の計画期間が平成30年度までとなっているため、新しく大竹市地域公共交通網形成計画について審議する。

(2) 幹線交通検討分科会の開催

こいこいバスの整備内容などについて検討するため、本分科会を適切かつ適正に開催し運営する。

(3) こいこいバスの運行

こいこいバスの運行を継続する。

【運行期間】	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日
【運行区間】	JR大竹駅 ～ JR玖波駅（全長：8.0 km, 停留所：19か所）
【運行日数】	毎日運行（平日：247日, 土日祝日：118日, 計：365日）
【運行便数】	平日：34便/日, 土日祝日：32便/日
【委託料】	29,590,000円 ※2台運行

(4) 三ツ石地区乗合タクシーの運行

三ツ石地区乗合タクシーの運行を継続する。

【運行期間】	平成30年4月2日 ～ 平成31年3月29日
【運行区間】	三ツ石地区 ～ ゆめタウン大竹または市役所
【運行日数】	155日（毎週月・火・金曜日運行） ※1/1～1/3 運休
【運行便数】	11便/日（行き5便, 帰り6便）
【委託料】	@1,080円×運行台数

(5) ひまわりタクシーの実証運行

玖波7・8丁目地区での乗合タクシーの実証運行を継続する。

本格運行への基準（目標値 80 人/月、1.6 人/台）の達成に向けて、ひまわりタクシー運行協議会と連携し、利用促進する。

【運行期間】	平成30年4月2日～平成31年3月29日
【運行区間】	玖波7・8丁目～玖波駅または広島西医療センター
【運行日数】	155日（毎週月・水・金曜日運行）※1/1～1/3運休
【運行便数】	11便/日（行き5便、帰り6便）
【委託料】	7丁目：@900円×運行台数、8丁目：@1,080円×運行台数

(6) 湯舟のりあいタクシーの運行

湯舟のりあいタクシーの運行を継続する。

【運行期間】	平成30年4月3日～平成31年3月29日
【運行区間】	湯舟地区～広島西医療センターまたはゆめタウン
【運行日数】	154日（毎週火・水・金曜日運行）※1/1～1/3運休
【運行便数】	10便/日（行き5便、帰り5便）
【委託料】	@1,080円×運行台数

(7) 栄ぐるりんタクシーの実証運行

栄町地区での乗合タクシーの実証運行を継続する。

【運行期間】	平成30年4月2日～平成31年3月29日
【運行区間】	栄町地区（南地区・北地区）～（地区内目的地）しまむら、村井内科、松前内科、栄公民館、コミュニティサロン栄町、ゆめマート、（地区外目的地）大竹駅または総合市民会館
【運行日数】	145日（南地区：毎週月・水・金曜日運行）※1/1～1/3、祝日運休 150日（北地区：毎週火・木・金曜日運行）※1/1～1/3、祝日運休
【運行便数】	11便/日（行き5便、帰り6便）
【委託料】	@1,200円×運行台数

(8) 御園台地区乗合タクシー（あじさいタクシー）の実証運行（予定）

御園台地区での乗合タクシーの実証運行を開始する。

【運行期間】	平成30年7月3日～平成31年3月28日
【運行区間】	御園台地区～ゆめタウン
【運行日数】	75日（毎週火・木曜日運行）※1/1～1/3、祝日運休
【運行便数】	8便/日（行き4便、帰り4便）
【委託料】	@1,080円×運行台数

(9) その他、新たな支線交通の検討と導入

支線交通について、新たに要望・相談等があれば、地域と連携して検討し、導入に向けて支援を実施する。

(10) **大竹・栗谷線の見直し**

大竹・栗谷線バスの運行を継続する。
運行内容改正後（平成 28 年 4 月以降）の利用状況を検証し、必要に応じて改善する。

(11) **坂上線の見直し**

坂上線バスの運行を継続する。
運行内容改正後（平成 27 年 4 月以降）の利用状況を検証し、必要に応じて改善する。
また、防鹿地区管渠（上水・下水）布設工事の際は、利用者が混乱しないよう適切に情報を提供し、迂回ルートを運行する。

(12) **広報紙による啓発記事掲載**

引き続き「広報おおたけ」に公共交通に関する記事を掲載し、市民への情報提供、啓発及び利用促進を推進する。

(13) **バスエコファミリーキャンペーンについて**

土日祝日の利用を促進するとともに、モビリティ・マネジメントの一環として、こいこいバスについては、11 月の土日祝日に限り、大人 1 人に同伴する小学生 2 人を無料とするキャンペーンを実施する。

(14) **広告の募集について**

こいこいバスの収入を確保するため、バス停に設置しているベンチの広告及び車内の広告の確保に努める。

(15) 大竹市地域公共交通総合連携計画事業推進業務及び大竹市地域公共交通網形成計画策定支援業務

総合連携計画事業をより円滑かつ効果的に実施するため、専門的知識・ノウハウを有するコンサルタントに業務を委託する。

また、現在の第2期大竹市地域公共交通総合連携計画の計画期間が平成30年度までとなっているため、併せて大竹市地域公共交通網形成計画策定支援業務をコンサルタントに委託する。

大竹市地域公共交通総合連携計画事業推進業務及び大竹市地域公共交通網形成計画策定支援業務	
【履 行 期 間】	平成30年6月1日～平成31年3月29日（予定）
【主な業務内容】	
◇	運行事業の検証及び改善策等の提案
◇	チラシ・ポスター等の広報コンテンツの作製
◇	アンケートの実施及び分析
◇	モビリティ・マネジメントの実施支援
◇	公共交通に関する現状及び上位計画整理
◇	住民・利用者のニーズ調査
◇	計画事業の検討及び地域公共交通網形成計画のとりまとめ 等
【委 託 料】	4,136,400円（予定）

3 大竹市公共交通活性化基金の活用

平成23年度に造成した公共交通活性化基金を、引き続き、こいこいバスと支線交通を対象とし、運営経費の財源として活用する。

【基金名】	大竹市公共交通活性化基金	※（ ）は積み増し後の数値。
【造成日】	平成24年3月29日（平成28年3月31日）	
【基金額】	105,000,000円（199,558,000円）	
【再編交付金額】	102,585,000円（197,143,000円）	
【事業年度】	平成24年度～平成30年度（平成24年度～平成47年度）	
【繰出金】	平成24年度：14,236,447円 平成25年度：16,055,410円 平成26年度：16,973,885円 平成27年度：12,132,868円 平成28年度：4,142,735円 平成29年度：4,694,316円 平成30年度：3,097,920円（予算）	
【基金残高】	133,252,404円（平成30年5月30日予定）	